

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

羽島市立堀津小学校

## ◆全国学力・学習状況調査とは

文部科学省が毎年4月に、全国の6年生と中学3年生を対象に実施している学力調査のことです。国語と算数における学習状況を把握し、授業改善に生かすことを目的としています。

このたび、今年度の調査結果がまとまりましたので、堀津小学校の傾向についてお知らせします。今回の学力調査から、本校の6年生児童は概ね基礎的な学力は身に付いていることが明らかとなりました。しかし、課題となる内容もありましたので、改善点等も含めてお知らせいたします。また、生活習慣や学習環境に関する意識調査の結果もまとめましたので、これからの生活にお役立てください。

## ◆学力に関する調査の結果から

### 1 国語

#### 【身に付いている内容】

- ・全体的に「話すこと・聞くこと」「読むこと」についての学習内容は理解し、学力を身に付けています。
- ・「話すこと・聞くこと」に関しては、必要なことを質問しながら聞き、話し手の伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができている。
- ・「読むこと」に関しては、文章全体を読み、中心となる語や文を見つけて要約することができています。

#### 【課題のある内容】

- ・「書くこと」に関して、図表やグラフなどの複数の資料から必要な情報を読み取ったり、共通点を見付けたりしながら、自分の考えが伝わるように工夫して書き表すことに課題が見られます。
- ・知識・技能の面では、文章の中で漢字を正しく使うことや主語と述語の関係を正しく理解する力に課題が見られます。

→国語の授業では、決められた文字数で書く力、条件を満たして書く力、キーワードを使って書く力を身に付けることができるよう指導していきます。さらに、算数や理科、社会などの学習でも、図や表が表していることを読み取ったり、複数の資料から共通点を見付けたりしながら自分な考えをまとめられる時間を設け、指導していきます。また、継続的に読書の時間を位置付け、語彙を増やし、読解力がつくよう指導していきます。

今後も、漢字ドリルの活用や年間を通して「漢字かがやき名人テスト」などを行い、漢字を正しく使うことができるよう指導していきます。

### 2 算数

#### 【身に付いている内容】

- ・「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域において、「図形」「変化と関係」の領域では、基礎的な力が身に付いています。
- ・「図形」の領域では、図形の性質や、面積、体積の求め方についてよく理解できています。
- ・「変化と関係」の領域では、速さ・時間・距離の変化の特徴を読み取り、公式を正しく理解して問題を解く力が身に付いています。

#### 【課題のある内容】

- ・「数と計算」「データの活用」の領域では、計算の仕方は理解できているものの、聞かれている条件に合うように順序良く計算したり、答えを導き出すためにどのように考えたのかを説明したりすることに課題が見られます。

→正しく計算したり、公式を利用して問題を解いたりする学習だけでなく、考え方や答えを導き出した過程が自分なりに説明できるような学習を大切にしていきます。

全体として、算数的活動を多く取り入れ、場面を解釈して関係を捉え、問題の解決方法を式や言葉を用いて説明できることを大切にしていきます。

#### ◆生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果から

【当てはまる・どちらかといえば当てはまるの割合が全国や岐阜県の割合を上回った設問】

##### ○自分にかかわること

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。

##### ○学校生活（生活・友達関係）にかかわること

- ・学校に行くのは楽しい。
- ・友達関係に満足している。
- ・人が困ったときに進んで助けている。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

【当てはまる・どちらかといえば当てはまるの割合が全国や岐阜県の割合を下回った中で課題だと考えられる設問】

##### ○自分にかかわること

- ・自分にはよいところがある。
- ・将来の夢や目標をもっている。

##### ○学習にかかわること

- ・平日または休日の1日当たりの学習時間がやや少ない。

#### 【今後に向けて】

保護者の方のおかげで、家庭で規則正しく健康的な生活をしている児童が多いです。

仲間と関わりながら、学校生活を楽しく過ごし、学級の仲間との学習や活動を通して、自分の考えを伝えたり、問題を解決しようとしたりして、努力していることが分かりました。また、小規模校で他学年と関わる機会が多くあることで、優しい気持ちをもって仲間に接している児童も多いです。

今後は、本校で大切にしている5つの非認知能力（自己肯定感・伝えあう力・粘り強さ・創造性・郷土を愛する心）を育て高めるために、児童の努力の過程やよさを認め励ましていくことを大切にしていきます。また、志授業やふるさと学習などを通して、児童が様々な人と関わりながら、地域のよさ、自分のよさに気づき、将来の希望や夢をもつことができるよう指導していきます。

一人1台タブレット配付により、児童にとって、タブレットは学習道具の一つになっています。児童もタブレットで学習することのよさを実感していることが上記の調査で明らかになりました。学習に利用するための活用の仕方や自分で使い方をコントロールできる指導を繰り返し行っていきますので、家庭学習でもうまく活用できるよう、見届けをお願いします。

家庭学習においては、今年度からスタートしたマイプラン学習を継続し、計画的に学習したり、必要な学習を選択したりする力を高めていきます。引き続き、ご家庭でも基本的な生活習慣を大切にしながら、お子さんの頑張りを認め、励ましていただきますようお願いいたします。